

事業シート（概要説明書）

予算事業名	幼児教育の質の向上推進事業	事業開始年度	2019年度					
上位施策事業名	幼児教育推進体制を活用した地域の幼児教育の質向上強化事業	担当局・部名	小中学校課					
根拠法令等	教育基本法第11条、学校教育法第22、23条	担当課・係名	幼児教育センター					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	指導主事・中崎					
実施の背景	2017年に幼稚園、保育所及び認定こども園の教育要領等が同時に改訂され、3歳以上については、各園・所で質の高い幼児教育を行うことや、育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が明確化された。幼児期の教育は人格形成の基礎を培う上で重要なものであり、幼児期の子どもの非認知能力等の育成など、幼児教育の質の向上のための拠点づくりが求められたことから、2019年に幼児教育センターを設置した。							
目的 (何のために)	関係機関等との連携体制づくりや幼児教育施設訪問研修の実施、幼児教育と小学校教育の円滑な接続推進等の取組を行うことにより、幼児教育のさらなる質の向上を図る。							
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	富山県内の幼児教育施設の保育者、小学校等教員、市町村幼児教育担当者、年長児保護者	対象者数（全住民に対する割合） 15,517 人 (1.5 %)					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施（直営）						
		<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：）						
		<input type="checkbox"/> 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体：）						
		<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：） <input type="checkbox"/> その他（）						
事業内容 (手段、手法など)	事業内容（箇条書き）	事業費	活動指標					
	幼児教育施設訪問研修	2,880 千円						
	幼児教育と小学校教育の接続推進を目指した取組	2,516 千円						
	幼児教育推進連絡協議会・専門部会の開催	539 千円						
		千円						
関連事業 (同一目的事業等)	幼児教育の理解・発展推進事業							
コスト	2023 年度（予算）		2022 年度（決算見込）		2021 年度（決算）		2020 年度（決算）	
	事業費合計	5,935 千円	4,294 千円	2,525 千円	2,308 千円			
	事業費内訳 (2022年度分)	<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育スーパーバイザーへの報酬等 2,342千円 講師等への謝金 886千円 講師等への交通費 390千円 研修会場費 144千円 印刷製本費 162千円 通信運搬費 51千円 消耗品費 193千円 会議費（お茶等） 3千円 雑役務費（保険料） 33千円 						
	担当正職員	2.3 人 16,268 千円	1.4 人 10,329 千円	1.4 人 10,220 千円	1.4 人 10,186 千円			
	臨時職員等	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円			
	人件費合計	2.3 人 16,268 千円	1.4 人 10,329 千円	1.4 人 10,220 千円	1.4 人 10,186 千円			
	総事業費	22,203 千円	14,623 千円	12,745 千円	12,494 千円			
財源内訳	国補助金	2,669 千円	2,147 千円	1,262 千円	1,154 千円			
	国補助金の内容 教育支援体制整備事業費交付金（1/2）							
	地方債	千円	千円	千円	千円			
	その他の財源 (使用料、手数料など)	千円	千円	千円	千円			
	その他の財源の内容							
	一般財源	19,534 千円	12,476 千円	11,483 千円	11,340 千円			
財源合計	22,203 千円	14,623 千円	12,745 千円	12,494 千円				

事業シート（概要説明書）

予算事業名		幼児教育の質の向上推進事業			事業開始年度		2019年度
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値※）		単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度
		幼児教育施設訪問研修 参加者数 ※幼児教育推進リーダーの増加に伴い、目標参加者数も増加		人	660/900	765/600	315/300
		幼児教育推進リーダー、育成研修受講者数 ※幼児教育推進リーダーの育成人数を毎年20名ずつ増加		人	53/60	40/40	20/20
		幼児教育スーパーバイザー（幼小接続担当）による講話等の受講者数		人	483/404		
		地区別幼児教育・小学校教育接続研修会参加率		%	48.8/59	42.1/58	58.8/57
		幼児教育・小学校教育接続モデル校区施設 保育者・教員数 ※モデル校区（R4:12小学校+20園所、R3:6小学校+10園所）の職員数		人	552/552	276/276	
	幼児教育と小学校教育の円滑な接続研修会（R3：幼児教育・小学校教育合同フォーラム）参加者数 ※幼児教育施設数と小学校数の合計の50%の参加者数を目標		人	173/252	298/256	コロナで中止	
単位当たりコスト	総事業費	/	参加者数	円	7,612	9,242	37,296
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	①幼児教育施設訪問研修アンケートで、「今後の保育の充実につながる研修となった」と回答した園・所の割合 ②幼児教育リーダー育成研修アンケートで、「園・所に気付きを促し、実践や改善につなげるための支援を行う力を付けるためにどの程度役立ったか」の質問に対する回答（4点満点） ③地区別幼児教育・小学校教育接続研修会アンケートで、講演が「とてもよかった」「よかった」と回答した割合 ④幼児教育と小学校教育の円滑な接続研修会アンケートで、講演が「とてもよかった」「よかった」と回答した割合					
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度
		①幼児教育施設訪問研修アンケートで、「今後の保育の充実につながる研修となった」と回答した園の割合		%	95/95	94/92	95/90
		②幼児教育リーダー育成研修アンケートで、「園・所に気付きを促し、実践や改善につなげるための支援を行う力を付けるためにどの程度役立ったか」の質問に対する回答の平均点（4点満点）		点	3.7/3.2	3.1/3.1	3.0/3.0
		③地区別幼児教育・小学校教育接続研修会アンケートで、講演が「とてもよかった」「よかった」と回答した人の割合		%	99/97	96/96	97/95
④幼児教育・小学校教育の円滑な接続研修会アンケートで、講演が「とてもよかった」「よかった」と回答した人の割合		%	100/95	99/90	コロナで中止		
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育施設訪問研修については、実施した園・所からの評価、満足度は高く、そのよさを実感した園・所が継続的に訪問研修の実施を希望するようになった。訪問研修により園・所が主体的に園内研修を継続、充実させ、幼児教育の質の向上を図っていくためには、訪問者であるアドバイザーや推進リーダーの資質の向上を図る研修を充実していく必要がある。 ・幼児教育と小学校教育の接続に関しては、ニーズに応じた研修、モデル校区による取組、スタートカリキュラムの作成等、少しずつ進んでいる。今後はモデル校区の実践事例等の効果的な発信について工夫するなど、さらなる接続推進を図っていく。 ・関係機関との連携・体制づくりについては、センターの取組への理解と協力を得ることができるようになってきており、県内の幼児教育の現状を踏まえた取組を進めることができている。 						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）	2022年度（決算）	訪問研修	幼小接続	連携	合計		
	富山県	1,909 千円	1,904 千円	481 千円	4,294 千円		
	福井県	4,206 千円	60 千円	していない	4,266 千円		
	愛知県	3,400 千円	0 千円	246 千円	3,646 千円		
	静岡県	2,100 千円	2,500 千円	300 千円	4,900 千円		
	三重県	1,951千円		していない	1,951 千円		
	岐阜市	2,096 千円	438 千円	231 千円	2,765 千円		
	金沢市	県で育成 (10,778千円)	320 千円	250 千円	570 千円		
特記事項	幼児教育施設の類型や団体は多様であり、それらと連携しながら事業を進めていく必要がある。						

令和5年度富山県幼児教育センターの取組

関係機関等との連携体制の継続

- 幼児教育推進連絡協議会（年2回）…幼児教育の質の向上を図る具体的な方策を検討
- 専門部会（3部会）…課題となる項目について検討

○幼児教育県関係部局連絡会議、市町村幼児教育担当者連絡協議会の継続

各施設の実態を踏まえた幼児教育の質の向上

1 幼児教育の質の向上および園内研修の充実

(1) 幼児教育施設訪問研修の実施…R5.6月～R6.1月実施予定

- R5 60施設実施予定（R4 44施設に訪問）
- 幼児教育スーパーバイザー等による指導助言
- 幼児教育アドバイザー・推進リーダー等と園・所との連携の充実
- 3歳未満児保育の研修にも対応
（3歳未満児担当、3歳以上児担当のリーダー派遣）

(2) 推進リーダー等の育成と資質の向上

- 新規推進リーダーの育成（年6回の研修会を実施）
- 幼児教育アドバイザーや推進リーダー等の資質の向上
・幼児教育アドバイザー研修・連絡会（年6回）
・推進リーダー（第一期生、二期生、三期生 計49名）のフォローアップ研修会（年3回）

(3) 園内研修充実のための研修会の継続

2 幼児教育・小学校教育の円滑な接続の推進

(1) 幼児教育スーパーバイザーの活用

- モデル校区での取組事例を県内小学校等へ紹介
- 小学校の学校訪問研修会での指導助言
- モデル校区の実態に応じた支援
- 過去のモデル校区へのフォローアップ
- 小学校1年生担任向けの研修

(2) 新規幼児教育・小学校教育接続モデル校区の設置

- 県内6小学校区を新たに設置（R3：6校区、R4：6校区）
- モデル校区の実践例の紹介

(3) 地区別幼児教育・小学校教育接続研修会の充実

(4) 「わくわく・きとくと」接続ガイド改訂版作成・配布

3 その他

(1) 特別支援教育に専門性をもつ人材の活用

- 訪問研修におけるアドバイス、情報提供、研修会での講義等

(2) 家庭教育との連携

- 安心子育てリーフレット配布（年長児の保護者等）HP掲載

令和5年度 幼児教育の質の向上推進事業

1 R4年度の取組み

関係機関等との連携・体制づくり

- 幼児教育推進連絡協議会（5月、10月開催）
- 専門部会（各1回）・リーダー活用部会
 - ・施設訪問等研修部会
 - ・幼小接続部会
- 幼児教育県関係部局連絡会（随時）
- 市町村幼児教育担当者連絡協議会の開催（6月、1月予定）

幼児教育の質の向上

(1) 訪問研修の実施（45施設）

<R4 訪問研修実施の園や所からの声>

- ・職員の資質向上、モチベーションを高めるためには、園内研修が大切だと感じた。
- ・主体性を育むには、子供を丸ごと受け止める、肯定的な言葉をかける、寄り添うことが大切だと学んだ。
- ・「幼児教育施設訪問研修からの学びを語る会」実施（11月）

- (2) 幼児教育推進リーダーの育成(第3期生)（16名）
 - ・幼児教育推進リーダー育成研修の実施（6回）

- (3) 幼児教育アドバイザーや推進リーダー等の質の向上
 - ・幼児教育アドバイザー研修会・連絡会（6回）
 - ・推進リーダーのフォローアップ研修会（2～3回）

- (4) 幼児教育・小学校教育の円滑な接続（幼児教育・小学校教育接続推進事業）6校区

- 幼児教育・小学校教育接続モデル校区の設置
 - ・幼児教育・小学校教育接続担当者等連絡会（5月、12月）

- 幼児教育スーパーバイザー（幼小接続担当）による支援

- 地区別幼児教育・小学校教育接続研修会の開催

- 幼児教育・小学校教育の円滑な接続推進研修会
 - ・・・8/8（保育者、教員等157名参加）

- ・講演「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指して」木下 光二氏（鳴門教育大学教授）

- R3モデル校区の取組紹介

- ・幼小接続取組リーフレット作成、配布

- (5) 「園内研修充実のための研修会」開催
 - ・7月、11月 2回開催（保育者102名参加）

2 成果と課題

- 公私立、施設種が様々な幼児教育施設の質の向上を図るために、関係部局や関係諸団体、市町村との連携体制が徐々に整い、幼児教育センターの取組の理解が深まってきている。

<幼児教育に関する国の動き>
・こども家庭庁設置法（R4 6月）

- R3にスタートした幼児教育・小学校教育接続推進事業では新規モデル校区を設置し、幼児教育アドバイザー（幼小接続担当）による各種研修会での講義や、モデル校区への手厚い支援を行うことができた。R5の新規モデル校区がさらに充実した取組をし、過去のモデル校区が取組を発展的に継続できるような支援とともに、県全体に幼小接続を推進するための体制づくりが必要である。

<幼小接続に関する国の動き>
・幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）、参考資料（R4 3月）

- 特別支援教育に専門性をもつ人材と連携し、訪問研修において特別な配慮を必要とする子どもの保育を課題とする園・所に、子どもよりよい学びと育ちのための支援をすることが必要である。R元:0、R2:2、R3:8、R4:3施設

- 訪問研修については、実績の積み重ねや周知活動による希望施設の増加を想定した体制づくりと、園、所に寄り添い、課題に応じたアドバイスのできるアドバイザー、リーダーの資質の向上が必要である。

	R元	R2	R3	R4
実施施設数	20	21	51	45
・施設との打合せ・助言 ・リーダーとの連携	スーパーバイザー1 アドバイザー3	スーパーバイザー1 アドバイザー5	スーパーバイザー1 アドバイザー5	スーパーバイザー2 アドバイザー7
助言			推進リーダー20	推進リーダー37

- 県内全体の幼児教育の質の向上を図るには、各園・所が主体的に園内研修を継続、充実させていくための支援が引き続き必要である。

3 事業内容

関係機関等との連携体制の整理と継続

- 幼児教育推進連絡協議会（年2回）
- 専門部会
 - ・リーダー活用部会
 - ・幼小接続部会
- ・訪問等研修部会等（年1回）

- 幼児教育県関係部局連絡会議、市町村幼児教育担当者連絡協議会の継続

各施設の実態を踏まえた幼児教育の質の向上

(1) 幼小接続の推進の強化

- 幼児教育スーパーバイザー（幼小接続担当）のさらなる活用
 - ・県内幼小接続推進をコーディネート、取組みの企画、助言
 - ・市町村教育委員会等への働きかけ
 - ・モデル校区の実態に応じた支援、情報提供
 - ・過去のモデル校区への継続的支援、情報提供
 - ・校区幼小合同研修会での講義等

- 新規幼児教育・小学校教育接続モデル校区の設置と支援の充実（県内6小学校区を新たに設置）
 - ・幼小接続の実践例の紹介（研修会での発表、事例パンフ、HP等）

- 幼児教育・小学校教育の円滑な接続推進研修会の継続（保育者と主に小学1年生担任対象）

- 地区別幼児教育・小学校教育接続研修会の充実

- 「わくわく・きときと」接続ガイド改訂・配布

- 家庭教育との連携…安心子育てリーフレット配布（年長児の保護者等）

(2) 幼児教育施設訪問研修の拡充

目標：県内330施設に3年に1度の訪問

- 訪問研修の実施（県内全園・所対象）の拡充…85施設実施予定
- 幼児教育アドバイザー・推進リーダー等の連携、園・所との打合せの充実
- 3歳未満児も研修の対象としていく。（未満児担当、以上児担当を派遣）
- 特別支援教育に専門性をもつ人材の活用
 - ・訪問研修におけるアドバイス、情報提供
 - ・特別支援教育に関する研修会での講義
- 「訪問研修からの学びを語る会」等を通じてよさの周知

(3) リーダー等の育成と資質の向上

- 幼児教育推進リーダーの育成（7名）育成研修（6回）
- 幼児教育アドバイザーや推進リーダー等の資質の向上
 - ・幼児教育アドバイザー研修会、連絡会（6回）
 - ・推進リーダー（Ⅰ期生、Ⅱ期生、Ⅲ期生 計53名）フォローアップ研修（3回）

(4) 園内研修活性化のための研修の充実（対象：副園長、ミドルリーダー等）

- ・教育要領、指針等の具体についての理解（訪問研の事例紹介、既存の研修の活用）
- ・園・所に気付きを促し実践につなげるための支援の在り方

【関係機関との連携】

